

平成 29 年 12 月 7 日

公益財団法人 建築技術教育普及センター

平成 29 年二級建築士試験 「設計製図の試験」標準解答例の公表について

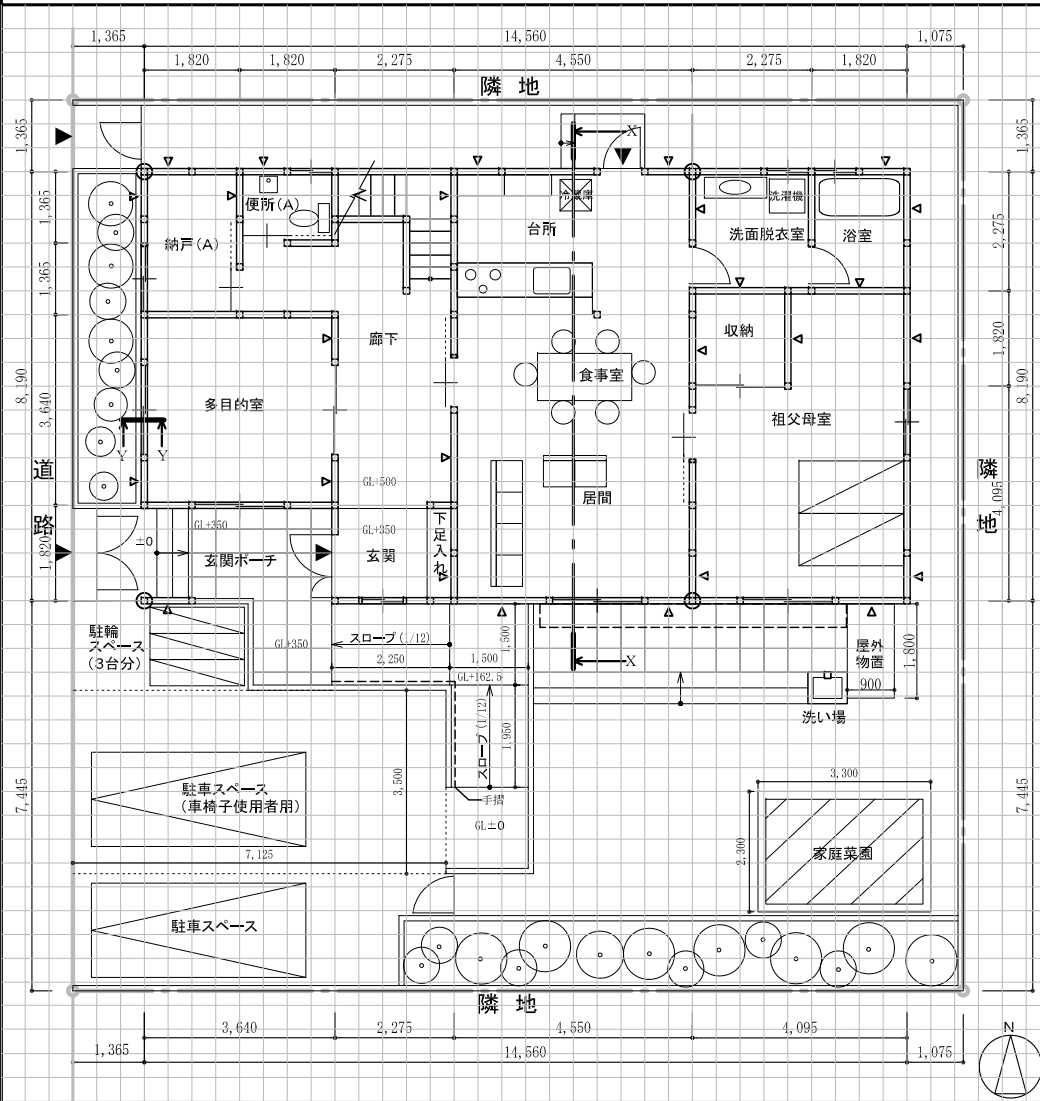
平成 29 年 9 月 10 日(日)に実施されました標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

二級建築士試験は、建築士法第 13 条及び第 15 条の 6 の規定に基づいて、全国 47 都道府県の指定試験機関である当センター（理事長 鈴木 眞生）が実施しています。

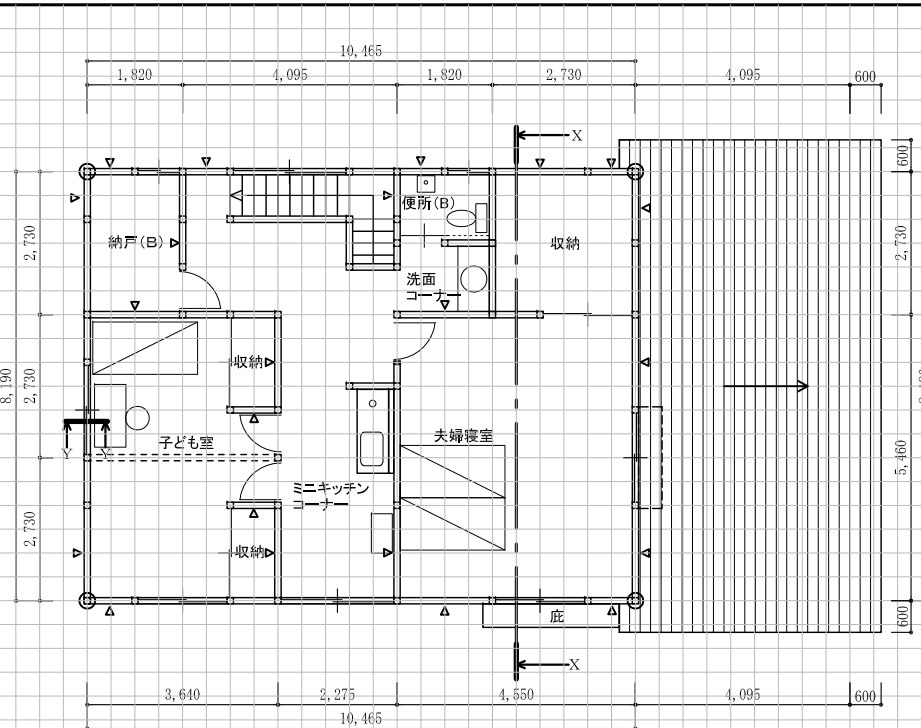
記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（二級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ（URL <http://www.jaeic.or.jp/>）にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 部分詳細図（断面）、仕上表及び計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

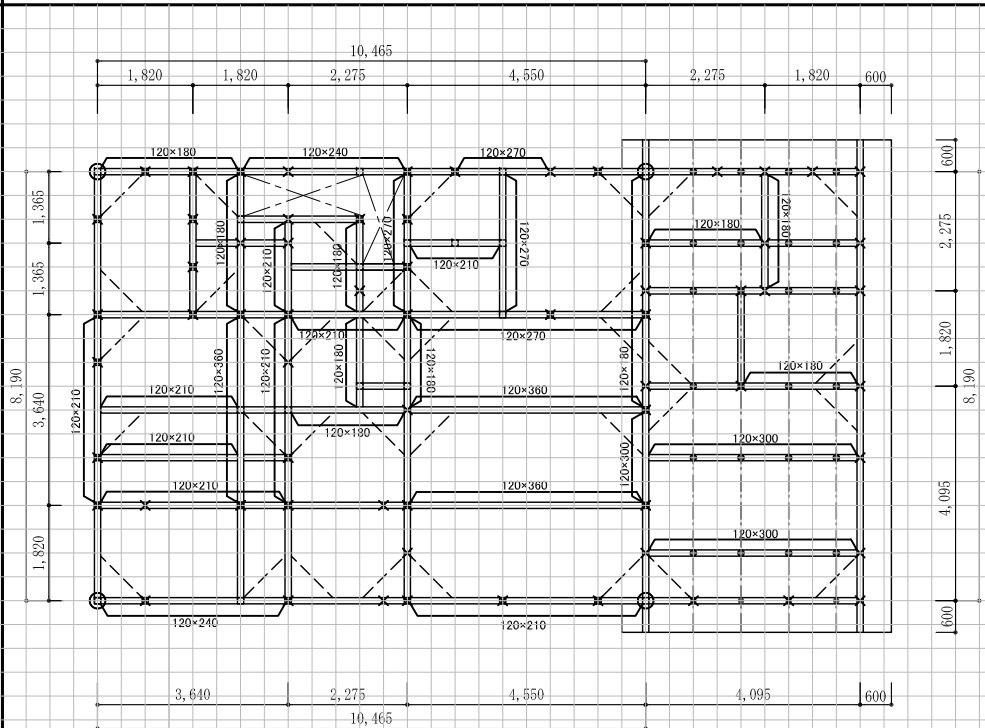
1階平面図 兼 配置図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



2階平面図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



2階床伏図 兼 1階小屋伏図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)

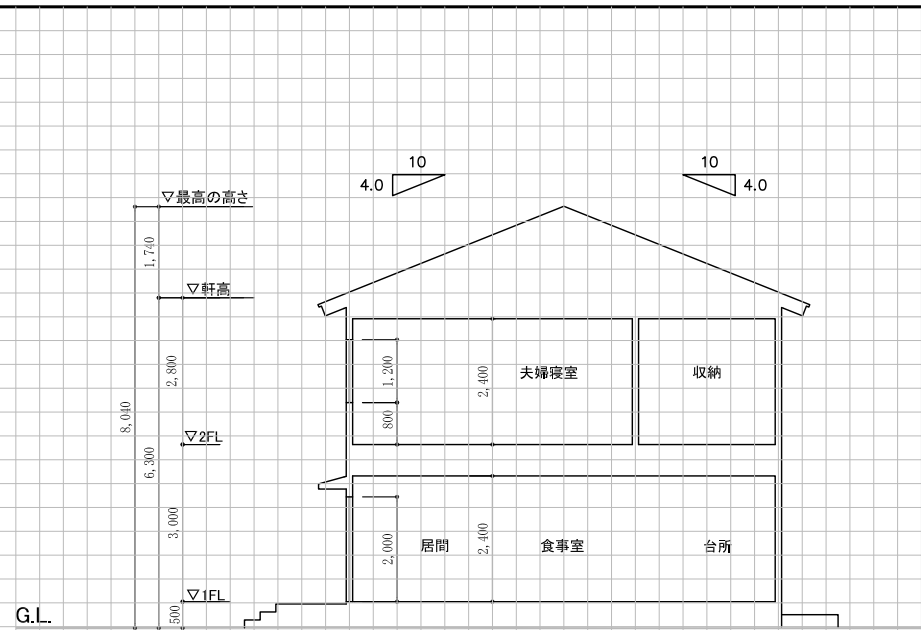


凡例	通し柱	1階の管柱	2階の管柱	1階と2階が重なる管柱	筋差・2階床梁・折・小屋梁	火打梁	棟木・小屋束	母屋・小屋束
表示記号	⊕	⊗	⊖	⊗⊕	正角材 平角材 五支材	---	⊕ ⊗	⊕ ⊗
断面寸法の記入欄(mm)	120×120	120×120	120×120	120×120	120×120 図中に記入	105×105 図中に記入	105×105 棟木 105×105 小屋束	105×105 母屋 105×105 小屋束

南側立面図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



断面図 縮尺1/100 (目盛4.55mm)



標準解答例

- 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能(二級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。)の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ(URL <http://www.jaic.or.jp/>)にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
- 部分詳細図(断面)、仕上表及び計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表していません。

敷地面積	289.00㎡	
建築面積	(計算式) 14.56 × 8.19 = 119.2464	119.24㎡
床面積	1階	(計算式) 3.64 × 6.37 + 10.92 × 8.19 = 112.6216
	2階	(計算式) 10.465 × 8.19 = 85.70835
延べ面積	198.32㎡	

個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。